

2025.1.31
全国保健所長会研修会

保健所での健康危機管理 ～リスクアセスメントを基礎から学ぶ～

尾島 俊之（浜松医科大学 健康社会医学講座 教授）

本日の内容

- 健康危機管理
- リスクアセスメント
- 厚労科研の紹介
- まとめ

健康危機とは

- 国民の**生命及び健康**に重大な影響を与えるおそれがある疾病のまん延その他の**公衆衛生上重大な危害**が生じ、又は**生じるおそれ**がある緊急の事態

(地域保健法 令和4年12月改正)

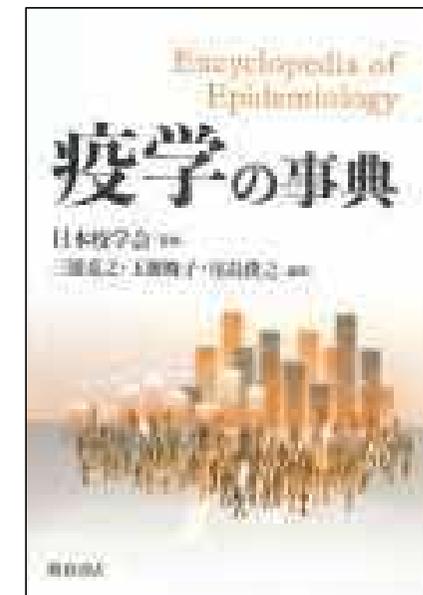
災害・健康危機の種類

表1 災害の分類

自然災害	
気象災害	風水害、熱波、寒波、雪害、干ばつなど
地質災害	地震、津波、火山、隕石など
生物学系災害	感染症、昆虫異常発生など
人為災害	
交通災害	航空機・船舶・列車、自動車事故など
産業災害	工場事故、原子力事故など
紛争災害	戦争、テロなど
その他	マスギャザリング(群衆)、火災、地球温暖化など

自然災害か人為災害か明確に分けられないものや、複数の項目に該当する災害もある。

原因不明健康危機、環境汚染等も重要



保健所における健康危機への対応の概要

対象分野

○原因不明健康危機

○災害有事・重大健康危機

- ・ 生物テロ、SARS、新型インフルエンザ 等
- ・ 地震、台風、津波、火山噴火 等

○医療安全

- ・ 医療機関での有害事象の早期察知、判断 等

○介護等安全

- ・ 施設内感染、高齢者虐待 等

○感染症

- ・ 感染症発生時の初動対応等、必要措置

○結核

- ・ 多剤耐性結核菌対応等

○精神保健医療

- ・ 措置入院に関する対応、心のケア等

○児童虐待

- ・ 身体的虐待、精神的虐待、ネグレクト等

○医薬品医療機器等安全

- ・ 副作用被害、毒物劇物被害等

○食品安全

- ・ 食中毒、医薬品（未承認薬も含む）成分を含むいわゆる健康食品等

○飲料水安全

- ・ 有機ヒ素化合物による汚染等

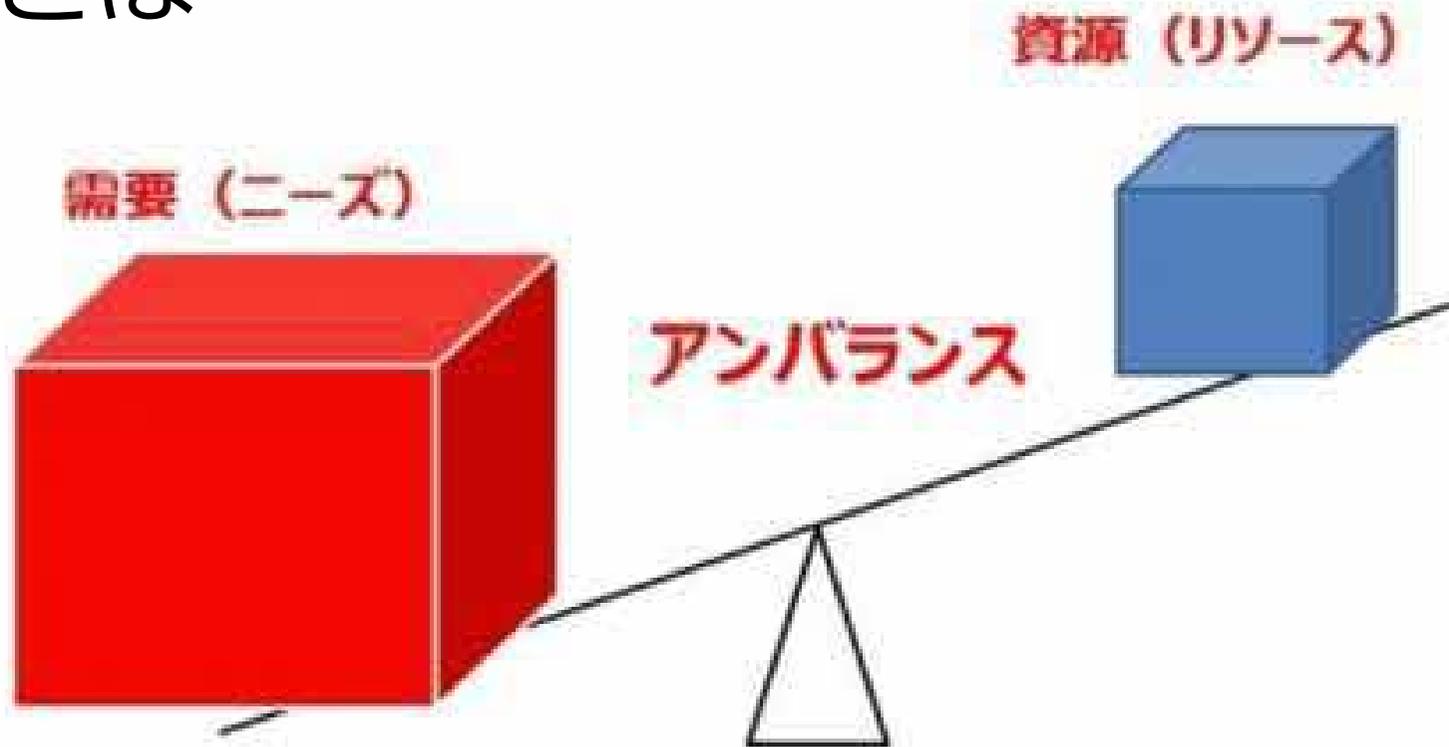
○生活環境安全

- ・ 原子力災害（国界事故）、環境汚染等

厚生労働省 地域保健対策検討会 中間報告(2005.5.23)

近年は健康危機として
大規模なものに焦点が絞られてきているか

災害とは



対応を検討するために、**需要 (ニーズ)** だけでなく、**資源 (リソース)** にも注目が必要

本日の内容

- 健康危機管理
- リスクアセスメント
- 厚労科研の紹介
- まとめ

リスクアセスメント

- **リスク特定** (risk identification)
 - リスクを**発見**し、認識し、記述すること
- **リスク分析** (risk analysis)
 - リスクの特質を理解し、**リスクレベル**を決定すること
- **リスク評価** (risk evaluation)
 - リスク対応をするかしないかや、対応の選択肢等の**決定を裏付ける**こと

ISO 31000 (リスクマネジメント規格)

リスクアセスメントが行われる課題

- 自然災害、感染症
- 化学物質の自律的な管理、労働災害
- 環境汚染、気候変動
- 食品安全、医薬品安全
- 慢性疾患（NCD）
- テクノロジー など

ハザードとリスク

危険性・有害性(ハザード)



人がいないため災害が起こらない

リスク



人がいるので災害が起こる可能性がある

厚生労働省 食品加工業におけるリスクアセスメント

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei14/dl/110713-00.pdf>

ただし、医療、サイバーセキュリティの分野等では、
ハザードとリスクを分けずに全てリスクと呼ぶ傾向がある

リスクへの対応

ISO 31000での
追加・変更

対応方法	概要
リスク回避	リスクが発生する可能性を取り去ること。津波の危険がある地域の住民が全員、高台に引っ越すなどがある。
リスク移転	危険な化学物質を使用する工程を外部で担当してもらい、自社では扱わないようにすること。また、保険に加入しておくことで、万一事故がおきても金銭的な損失が生じないようにしたりすることなど。
リスク低減	リスクの発生可能性を低くしたり、リスクが発生した際の影響が小さくなるようにしたりすること。たとえば食中毒が発生しないように調理場での衛生管理を向上させたり、大地震がおきても建物が倒壊しないように耐震補強したりすることなどがある。
リスク保有	リスクが発生してもその影響が小さい場合や、リスクに対応する現実的な方法がない場合に、リスクをかかえたまま受容すること。

→ 共有

+ リスク源の除去、
起こり易さを変える、
結果を変える

+ リスクをとる

リスク対応に関する紛らわしい用語

• リスクマネジメント

- リスクを組織的に管理し、被害の防止・低減を図る**プロセス**
- リスクマネジメントは発生前、クライシスマネジメントは発生後
両者を合わせて危機管理

• リスクガバナンス：企業で良く使う

- 組織内でリスクを適時適切に認識し、長期的に対応するための**仕組み**

• リスクアナリシス（リスク分析）：食品安全で良く使う

- リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーションの3つの要素

リスクとは

- 日常用語としては
 - 危険性 や 危険度
- より厳密な定義
 - 被害の**影響の大きさ**と被害が**発生する可能性**（確率）の組み合わせ
- ISO 31000の定義
 - 目的に対する不確実性の影響
- 疫学では
 - 累積罹患率（リスク比：相対危険、リスク差：寄与危険なども計算）

リスクアセスメント、リスクについて

- 重要なことの根本は、分野が違って概ね共通
- しかし分野によって、よく使う言葉や言葉の意味が違う
- 自分はどの意味で使っているかを説明しながら使う必要

本日の内容

- 健康危機管理
- リスクアセスメント
- **厚労科研の紹介**
- まとめ

厚生労働行政推進調査事業（厚労科研）

「保健所における健康危機管理対応の推進等に関する研究」

- **地域健康危機管理ガイドラインの推進**

小林良清（長野県佐久保健所・所長）

- **保健所及び地域の人的資源の育成・連携**

石井安彦（北海道釧路総合振興局・保健行政室（釧路保健所）・所長）

- **保健所における新型コロナウイルス感染症対応の検証**

前田秀雄（公益財団法人結核予防会・副理事長）

- **海外における地域健康危機管理**

佐伯圭吾（奈良県立医科大学医学部・教授）

保健所及び地域の人的資源の育成・連携 「健康危機管理に資する人材育成の手引き」を作製

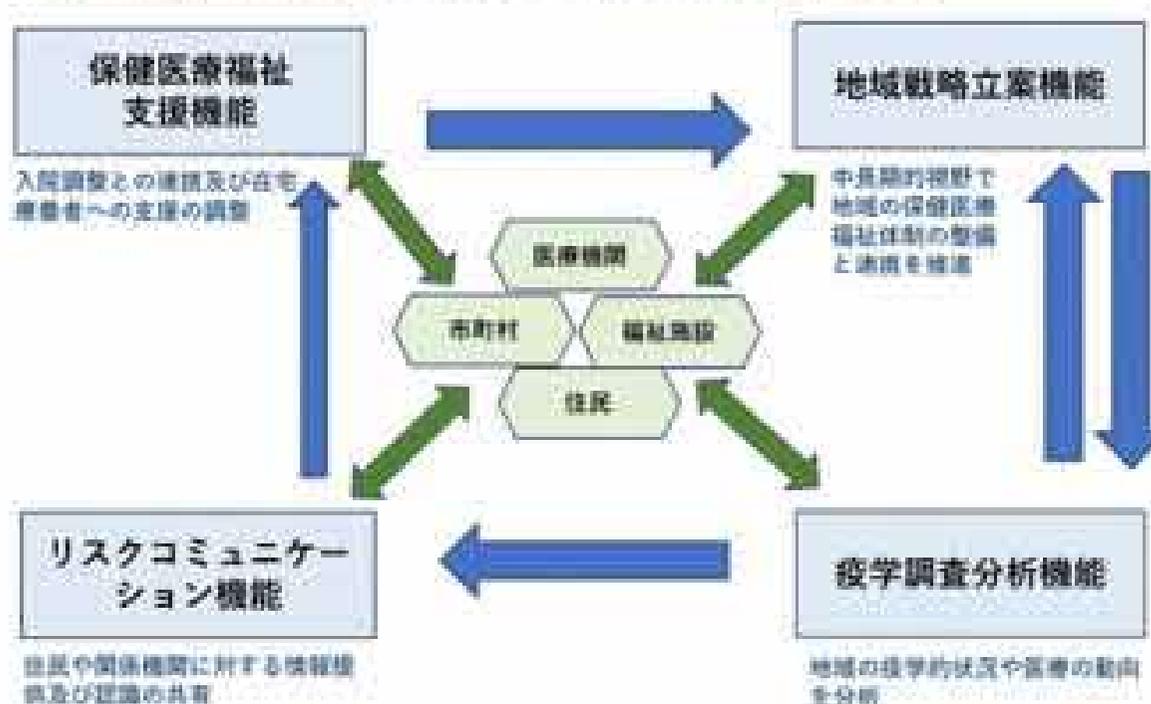
人材育成の手段と留意点

手段	特徴	留意点
研修	<ul style="list-style-type: none">受講者に合致したテーマやレベル設定演習等で模擬的な実働経験近年はオンラインの実施も増加	<ul style="list-style-type: none">受講目的の明確化受講後の評価・フィードバック
訓練	<ul style="list-style-type: none">実働の経験を補完組織や地域の対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none">実働と異なるタイムラインや活動内容企画・準備の負担
OJT	<ul style="list-style-type: none">研修や訓練の経験を活用ジョブローテーションも有効	<ul style="list-style-type: none">通常業務の中で意識的に行う必要
実働	<ul style="list-style-type: none">研修や訓練では得られない経験	<ul style="list-style-type: none">機会が少ない経験の振り返りと概念化が必要

保健所における新型コロナウイルス感染症対応の検証

保健所のパンデミック対策システム

沖縄県における健康危機管理システムを保健所機能に外挿する。



その他、入院調整における課題：**感染拡大防止**と**重症治療**入院の目的が渾然一体となり、また、双方とも保健所の業務となっていた。

海外における地域健康危機管理 米国公衆衛生認証制度

2.2 健康危機管理

評価項目2.2.1 A: 健康危機管理計画の策定

必要文書1: 公衆衛生健康危機管理計画 または管轄区域の緊急対応計画。

計画または添付書類には以下を含める必要がある。

- a. 計画の目的
- b. 指揮命令系について、責任の所在を含めた説明
- c. ハイリスク者(要配慮者)の特定。
- d. リスクの高い個人のニーズを満たすためのプロセス(2つ以上)。
- e. 主要な役割を担う機関、および以下の分野に関する保健部局(LHD)の責任:
 - ① 医療対策
 - ② 集団へのケア
 - ③ 集団レベルの致死率管理
 - ④ メンタルヘルス
 - ⑤ 非薬物的介入(法的な隔離、検疫、ソーシャルディスタンス)
 - ⑥ 対応者の安全と健康
 - ⑦ ボランティア管理(必要に応じて、主導的な役割を担う機関を示す)

当該LHDが主担当機関でない場合は、地域内の担当機関を記載する。

本日の内容

- 健康危機管理
- リスクアセスメント
- 厚労科研の紹介
- まとめ

保健所での健康危機管理 ～リスクアセスメントを基礎から学ぶ～

- 基礎を学びつつ、臨機応変に現実への対応を
- いろいろな分野・国内外の考え方や言葉遣いも学びつつ

ご清聴ありがとうございました

注目!

第84回日本公衆衛生学会総会

フェーズフリーの
地域づくりと
健康危機管理

2025年10月29日(水)~31日(金)

会 場 | グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター—静岡市)

学 会 長 | 尾 島 俊 之 (筑波医科大学健康社会医学講座 教授)

実 行 委 員 長 | 田 原 康 玄 (静岡社会健康科学大学院大学 教授)

第84回日本公衆衛生学会総会
ご案内

ホーム

ご挨拶

開催概要

校 員 ・ 組 織

プログラム

公開シンポジウム

講演要録

<https://plaza.umin.ac.jp/~jsph84/>